

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 体にいいものを見付けよう（1時間完了）

目標 インターネットの情報は、必ずしも正しいものばかりではないということを知ることができる。

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報モラルにかかわる 評価の観点と方法
10分	1 本時の学習内容を知る。	インターネットを用いて食について調べる学習を行うことを伝え、インターネットについて知っていることを話し合う。	活動への意欲を高めることができたか、表情や発言からとらえる。
10分	2 「ダイズ」について検索して、情報を読む。	検索する情報は、「ダイズ」「大豆」「だいず」に関連のある言葉にする。 1つの言葉について、たくさんのページが紹介していることに気付かせるようにする。また、関連の情報が膨大にあることに気付かせる。	インターネットを活用することで、多くの情報を得ることができていることに気付いたか、つぶやきや活動の様子からとらえる。
10分	3 「ダイズ」について2つの異なった情報が載っているページを見て、インターネットの情報が必ずしも正しいものばかりではないことに気付く。	画面転送で教師画面を転送して2つのページを見せ、異なった説明や数値などを代表児童に音読させる。 インターネットの情報には、異なった情報が存在することに気付かせる。	インターネットの情報はすべて現状に一致するものではないということに気付くことができたか、つぶやきや表情からつかむ。
10分	4 情報モラルクイズに取り組む。	小学校中学年の問題に取り組みせ、インターネットの情報以外のことでも気を付けることがあることに目を向けさせる。	インターネットの情報の真偽に留意する気持ちをもてたか、モラルクイズの解答からとらえる。
<p>情報モラルクイズ（中学年）</p> <p>インターネットは多くの人たちが使っているので、どんなことも正確な情報ばかりです。</p> <p>インターネットで集めた情報はどれも正しいので、そのまま学習に使うことができる。</p>			
5分	5 インターネットの情報の真偽についてのまとめをする。	今後の調べ活動で、どうしたら正しい情報が手に入れられるかを考えさせる。	